

### 防衛・基地モニター—那覇基地研修



3月10日～11日の間、防衛・基地モニター等による今年度最後の研修となる那覇基地及び陸上自衛隊那覇駐屯地研修を実施しました。那覇基地へは、往復K/C-130H輸送機に搭乗して片道約3時間をかけて移動し、南国特有のまぶしい日差しに迎えられ研修を開始しました。始めに隊員食堂で体験喫食をした後、那覇基地広報班による概況説明を受け南西方面の情勢について研修し、その後F-15J戦闘機の離陸を滑走路付近にて間近に見学をしました。モニターの皆様は戦闘機離陸時の爆音と迫力に圧倒されていました。その後、第2滑走路において切れ間なく離着陸する多くの民航機を見学しました。その後は、第9航空団所属のF-15J戦闘機を見学し初日の研修を終えました。

2日目は、陸上自衛隊那覇駐屯地研修から始まり、第15旅団の概要説明、周辺離島に対する災害派遣（緊急患者空輸）及び不発弾処理についての説明を受けました。その後は第17高射隊研修、警戒航空団第603飛行隊の格納庫でE-2D早期警戒機を見学し、最後に旧海軍砲台跡等の史跡を見学したのち、隊員食堂での体験喫食を満喫しました。

本研修では普段見る事のできない戦闘機の離着陸訓練を間近に見学し、第9航空団、第17高射隊、警戒航空団及び陸上自衛隊那覇駐屯地の任務並びに南西方面の緊迫した情勢を目の当たりにしてモニターの皆様は驚きを隠せない様子でした。

2日間におよぶ那覇基地研修でしたが、それぞれの研修先では積極的に多くの質問を行うなど、南西方面の現状及び航空自衛隊等の任務等をより深く理解してもらう事が出来ました。



### 新着任空士集合訓練



3月24日（火）～27（金）の間、第1輸送航空隊は新たに着任した21名の空士隊員に対し集合訓練を実施し、第1輸送航空隊の各隊の業務を実地に体験、併せて一部基地所在部隊の業務見学を通じ、輸送航空隊の任務及び小牧基地の役割について、空士隊員の理解の深化、そして、同基地で勤務する同僚隊員等との絆を深めてもらうことで、今後の円滑な勤務環境の構築を図りました。

初日は、小牧基地及び第1輸送航空隊の概要説明から始まり、飛行群において業務体験を実施したのち、小牧管制隊の業務見学をしました。2日目は基地業務群において業務体験を実施しました。3日目は整備補給群にて業務体験後、安全啓発教場及び救難団整備群を見学しました。最終日4日目は、野外行動訓練です。基地北東約14kmに位置する大縣神社をスタートし、小牧山を經由して約14kmを完歩し帰隊しました。

本訓練を通じて、被訓練者は航空基地を維持運営することに多くの部隊、隊員が関わっていること、航空機の運用についても飛行、整備、輸送、飛行管理、消防などの様々な部隊が密接に関わっていることを実地に学ぶことができ、自己に与えられた職務の重要性を再認識した非常に有意義な訓練となりました。

最後に多くの隊員によるご支援・ご協力のおかげで本訓練を実施することができました。ありがとうございました。

